

榉

青鳥

特集1

## CCライセンスと電子化コレクション

特集2

### ラーニング・コモンズ設置から10年

大阪大学の学生・教職員の皆様へ

### 箕面新キャンパスにおける図書館について

連載 学ぶ人のための情報ページ LS FORUM

実際どうなん？ 大学院生活のリアル

NEWS ☆ 図書館からのお知らせ

「いちよう祭での図書館イベント」 「図書館からの脱出2」 他



## CCライセンスの条件 (4種類)

作品を利用（再配布やリミックス作品の公開、実演等）するための条件は4種類あります。



表示

作品のクレジットを表示すること。



非営利

営利目的での利用をしないこと。  
(¥などの通貨記号も使われる)



改変禁止

元の作品を改変しないこと。



継承

元の作品と同じ組み合わせの  
CCライセンスで公開すること。



creative commons JAPAN  
“クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは  
(<https://creativecommons.jp/licenses/>)”  
“CC0について— “いかなる権利も保有しない”  
(<https://creativecommons.jp/sciencecommons/aboutcc0/>)”  
ライセンスはCC BY 4.0に基づく。

## 特集1

# CCライセンスと 電子化コレクション

2018年、大阪大学附属図書館では貴重図書の画像データの一部をクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（以下、CCライセンス）での提供に変更しました。対象のコレクションはCCライセンスの条件に則って利用することができます。

## CCライセンスとは

クリエイティブ・コモンズは、CCライセンスを提供している国際的非営利組織とそのプロジェクトの総称です。CCライセンスとはインターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。利用者はCCライセンスの表示を確認し、その条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができます。

## CCライセンスの種類

作品を利用（再配布やリミックス作品の公開、実演等）するための条件は4種類あります（柱参照）。これらの条件を組み合わせることができるCCライセンスは、ぜんぶで6種類。権利者は、自分の作品をどのように流通させたいかを考え、必要に応じて適切な組み合わせのライセンスを選ぶことになります。そのうち、大阪大学附属図書館で表示しているライセンスについて解説します。



表示—継承

原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、改変した場合には元の作品と同じCCライセンス（表示—継承）で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可されるCCライセンス。



表示—非営利—継承

原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。

creative commons JAPAN “クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは (<https://creativecommons.jp/licenses/>)” ライセンスはCC BY 4.0に基づく。

大阪大学附属図書館のCCライセンス表示コレクションの画像データを使用する場合は、クレジット表示に「書名」「大阪大学附属図書館所蔵」「CCライセンス表示」「データ改変した場合はその旨」を含めることが必要となります。なお、画像データを学術図書等に掲載した場合は、ぜひその成果物を当館までご提供ください。

## CCライセンス表示コレクションの例

## 懐徳堂



表示—非営利—継承

懐徳堂は、享保9年（1724）に大坂町人によって創設された学問所です。江戸時代の後半約140年にわたって大坂学術の発展と商道德の育成に貢献しました。一時は江戸の昌平坂学問所と並び隆盛を誇ったと伝えられており、中井竹山・履軒兄弟、富永仲基、山片蟠桃などの優れた学者を輩出しました。

懐徳堂文庫は、懐徳堂の記録や和漢経書、史書及び歴代教授の自筆稿本等約5万点からなるコレクションで、うち画像データとして400点以上を公開しています。



中井履軒『越俎弄筆』

## 西洋古版アジア地図



表示—継承

西洋古版アジア地図は、1980～81年度に大阪大学附属図書館が購入したコレクションで、西洋で発行されたアジア、特に東アジア・北アジアの地図約100点で構成されています。発行年代は1570年代から1870年代までの300年にわたっており、西洋人のアジア地理知識の変遷が伺える貴重なコレクションです。



ブラウ父子『シナ図』Amsterdam, [1650]

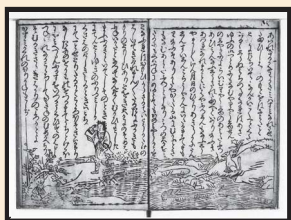
## 赤木文庫蔵古浄瑠璃コレクション



表示—継承

在野の国文学者である横山重氏（1896～1980）は、50年にわたって説経正本、室町時代物語、古浄瑠璃正本等の調査・収集・翻刻出版を続け、その蔵書である「赤木文庫」は貴重な善本の揃ったコレクションとして学界に広く知られていました。

大阪大学附属図書館では、「赤木文庫」のうち、江戸初期から中期にかけての古浄瑠璃及び説経正本96点を1982～83年度に購入しました。その後、文学部の信多純一教授（現・名誉教授）から4点の寄贈を受け、総点数100点の国内有数のコレクションとなっています。



『とうだいき』

## 忍頂寺(にんじょうじ)文庫



表示—継承

忍頂寺文庫は、歌謡研究者として知られる忍頂寺務氏（1885～1951）旧蔵のコレクションです。歌謡関係のほか、洒落本・狂歌本・俳書や芝居・遊里関係の資料1,990点で構成されており、稀覯本を多く含みます。

忍頂寺文庫のうち、画像データとしては、洒落本を主とする139点と、新日本古典籍総合データベース上で公開中の680点（1981年に国文学研究資料館で撮影されたマイクロフィルムをデジタル化）を提供しています。



『粹好伝夢枕』

今後も大阪大学附属図書館では、CCライセンス表示コレクションを増やして行く予定です。附属図書館Webサイトの「コレクション・電子化資料」のページなどを随時更新していきます。

貴重資料を公開し、広く一般に利用してもらうために、電子化の動きが広がっています。

附属図書館では国文学研究資料館の事業により、適塾関係資料及び懐徳堂関係資料をはじめとする貴重資料の電子化作業がおこなわれています。この事業は2014年度から毎年実施されています。

電子化の方法は様々ですが、適塾関係資料及び懐徳堂関係資料はデジタルカメラで撮影して電子化しています。



デジタルカメラで資料を撮影するための機材一式です。（映り込みを防ぐための暗幕、反射板、資料を設置する台、カメラ等）



この方法だと、縮率を変えたり、資料の状態や形態に応じて柔軟に対応できます。

一方でカメラや照明を扱う専門知識が必要です。

電子化された資料は学外からも検索・閲覧可能です。附属図書館Webサイト「コレクション・電子化資料」ページからご覧ください。  
<https://www.library.osaka-u.ac.jp/collection/>

（写真は2015年10月28日職員研修より）

# 特集2 ラーニング・コモンズ設置から10年

Teaching から Learning へ、Reading から Learning へ

## ラーニング・コモンズとは

移動型の机やホワイトボード、プロジェクターなどの電子機器を整備し、グループワークやプレゼンテーションなど、学生の主体的な学びを支援する空間です。現在では、全国の約8割の大学で設置されており、図書館はこれまでの「静かに学習する空間」だけでなく、「コミュニケーションを取りながら学ぶ空間」を提供する場として変化してきています。

大阪大学では、2009年に「自主的・自立的な学習活動を支援するための『学びの場』『創造の場』『発想の場』」をコンセプトに総合図書館、理工学図書館にラーニング・コモンズが開設されました。国立大学での本格的なラーニング・コモンズの設置は先駆的で、当初は他大学の図書館関係者も多く見学に訪れました。

2012年には外国学図書館に、2014年には生命科学図書館にもラーニング・コモンズが開設され、現在4館すべてにアクティブラーニングを支援するスペースが整備されています。総合図書館と理工学図書館のラーニング・コモンズは今年で設置から10年経ちました。2館のラーニング・コモンズの変遷をご紹介します。

### 総合図書館

2009年（10年前）



面積 : 757㎡  
座席数 : 約130

2012年

C棟2階に多言語・多文化理解を目的とした「グローバル・コモンズ」を設置。LSによる留学生サポートも開始しました。

電子機器も充実し、試験期間の24時間開館も始まりました。



面積 : 398㎡  
座席数 : 約50



コラボレーションゾーン

B棟2階に開設。ノートパソコンやプロジェクターの貸出も開始しました。

開設にあわせて、両館に大学院生のラーニング・サポーター（LS）※を配置。場所だけでなく人的な学習支援も開始しました。

※2016年度以前はティーチング・アシスタント（TA）



面積 : 545㎡  
座席数 : 約120

2014年

A棟2階にもラーニング・コモンズを拡充。アクティブラーニングスペースがさらに広くなりました。

コラボレーションゾーンやプレゼンテーションゾーンは、セミナーや授業によく利用されています。少人数～35人まで対応可能です。



プレゼンテーションゾーン

2019年（現在）

### 理工学図書館

西館1階に開設。西館2階にグループ学習室も設置されました。



面積 : 236㎡  
座席数 : 約70



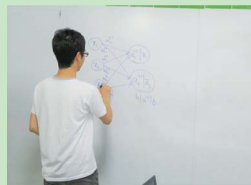
グループ学習室



大型ディスプレイ

2015年

東館1階にラーニング・コモンズを拡充。大型ディスプレイなどプレゼンテーションに便利な機器も多数導入されました。



ホワイトボードとして使用できる西館1階の4面の壁は2018年の地震でひび割れの被害を受けましたが、修復され新しくなりました。

プレゼンテーションエリアは、講習会や授業で活用されています。



面積 : 660㎡  
座席数 : 約180

グループ学習エリアでは、ホワイトボードを使って数名でディスカッションする学生も多く見られます。



プレゼンテーションエリア

### ■生命科学図書館ラーニング・コモンズ

2014年：1階に開設（194㎡、約60席）  
2016年：4階にラーニング・コモンズ拡充（183㎡、約40席）  
AVブース、個室、グループ研究室などを設置。

### ■外国学図書館ラーニング・コモンズ

2012年：1階に開設（126㎡、約30席）  
2015年：4階にAVコモンズ開設（77㎡、約20席）  
講習会やAV資料の視聴に利用できる大型ディスプレイも設置。

大阪大学の学生・教職員の皆様へ

# 箕面新キャンパスにおける図書館について

大阪大学附属図書館外国学図書館は箕面キャンパスの移転に伴い、令和3（2021）年4月に、大学図書館と箕面市立図書館が一体化した新たな図書館へと生まれ変わります。そして管理運営は、箕面市から指定管理者の指定を受けて大阪大学が行います。

新図書館は、箕面市立萱野南図書館の蔵書と外国学図書館の蔵書すべてを移管し、大阪大学における世界最先端の研究および教育を支援し、世界の言語と言語を基底とする地域の文化や社会に関する研究の集積拠点となり、かつ市民と共に地域の活気あるまちづくりを推進します。

令和2（2020）年度末には、移転に伴う準備作業のため、約二か月間、外国学図書館の臨時閉館を予定しています。閉館日程の詳細が決まり次第、附属図書館Webサイトおよび書面等でお知らせいたします。新図書館開館後も、大阪大学箕面新キャンパスにおける知の拠点として、引き続き大学図書館サービスを実施すべく検討してまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



関係施設設置予定場所



完成イメージ

1～4階：図書館／5～6階：生涯学習センター

講習会

- ・論文・レポートのための論理的な考え方
- ・ゼロから始めるGRE~大学院留学にむけて~
- ・としょかん春のスタディ・スキルセミナー第1弾（ノートの取り方、大学4年間のタイムマネジメント）
- ・としょかん春のスタディ・スキルセミナー第2弾（レポートの基本&テーマを絞り込む、文章の読み方、文章の書き方、引用の仕方）
- ・グロコモLSの外国語会話サブリ（中国語・スペイン語）
- ・Pythonでプログラミングに入門
- ・留学パネルトーク=旅行はなんか違うねんと思っているあなたへ=
- ・機械学習を学んでみよう！
- ・力学のための微分方程式



グロコモLSの外国語会話サブリ

生命科学図書館

図書展示

- ・LSのおすすめ本`19



LSのおすすめ本`19

# LS FORUM



## 文系大学院生の生活



外国学図書館LS  
言語文化研究科 言語社会専攻・M2  
たかみ かなめ  
高見 要

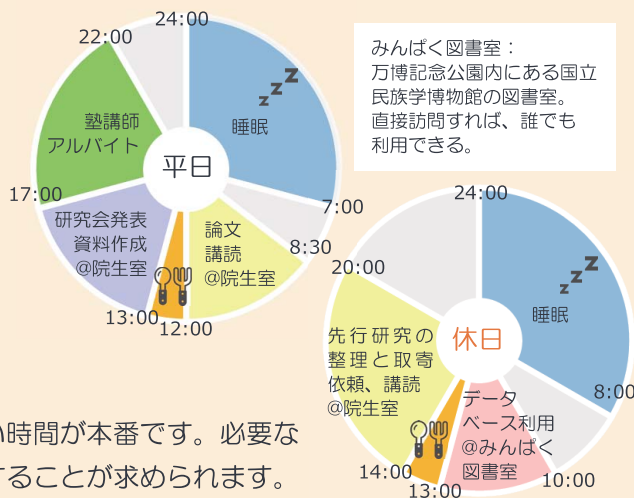
### 大学院に入るまで

私は2007年4月に統合直前の旧大阪外国語大学に入学しました。大阪外大と阪大の統合は同年10月なので、大阪外大入学生でありながら、学生生活のほとんどを阪大生として過ごしたことになります。在学中はアラビア語を専攻し、1年間のクウェート留学を経て、2012年3月に卒業しました。卒業後は総合電機メーカーに就職しましたが、会社の風土になじめず1年半ほどで退職。その後、ワーキングホリデー制度を利用してオーストラリアに2年間滞在しました。そこでいろいろな国からのムスリム移民の生活を垣間見たことで、もう一度研究の道を志し、帰国後、言語文化研究科言語社会専攻に入学しました。

### 大学院でのある一日

言語社会専攻では2年間で30単位（授業換算15コマ）を取得する必要があるため、授業数は1週間に4コマ程度ということになります。専攻語にもよりますが、一対一指導になることが多いようで、一人一人の関心に合わせた指導をしていただけます。

そして大学院生にとっては授業のない時間が本番です。必要な課題を設定し、自ら手段を探して行動することが求められます。



みんなく図書館：  
万博記念公園内にある国立民族学博物館の図書館。直接訪問すれば、誰でも利用できる。

### 学部時代と比べた大学院の面白さやしんどさ

大学院生活は楽しいです。自分で好きなことを選んで研究しているのですから、つらいはずがありません。

日々の生活は苦しいです。学費・生活費は全額を学習塾でのアルバイトで賄っており、お金はありません。お金がないと、時間もなくなります。平日はアルバイトがあり、あまり研究に時間がとれないので、週末にまとまった時間を確保できるようにしています。思うように研究が進まず、悩む方もいらっしゃるようですが、好きでしていることですから、自分のペースで納得いくものを仕上げるのが大切だと思っています。

将来の保証はまったくありません。希望もまったくありません。研究職の待遇は今後悪化するばかりでしょうし、そもそも研究職につくこともより難しくなるでしょう。

しかし、それでも、もっと勉強したいなら、世界のことを少しでも知りたいなら、世界中の誰も知らないことを明らかにしたいなら、あなたの居場所は大学院にしかないはずです。

実際どうなん？

# 大学院生活のリアル



## 理系大学院生の生活

総合図書館LS  
基礎工学研究科 機能創成専攻・M1  
なかつか りょうじ  
中塚 遼治



### 大学院でのある一日

私は基本的に一回の実験に2~3時間程度を要するので、時間に余裕のある昼過ぎから実験を始めることが多いです。また、大学院1年生は研究のほかにも講義・TA・就職活動等、重要なタスクが多く、私は隙間時間を見つけては講義のレポートやES（就職活動のエントリーシート）を書いており大変忙しい日々を送っております。

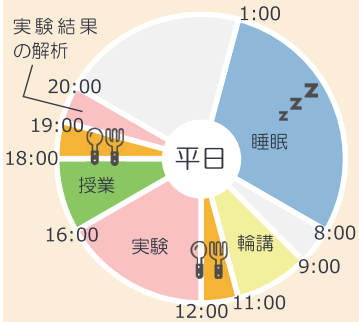
ここでは、私の専攻に限った話かもしれませんが、大学院の授業の難易度、修了までの単位取得について書きたいと思います。授業の難易度は専門性が増すこともあり高くなります。しかし、専門性の高さや修士の忙しさを教員も理解しているためほとんどの授業が期末レポートの提出で単位認定を

する印象です。レポートは基礎知識を学部時代に身につけておけば、特別苦労することはありません。また、本気を出せば1セメスター、普通にやっても2セメスターあれば修了単位は取りきれるので、それほど心配はいりません。（問題は研究です。）

### 学部時代と比べた大学院の面白さやしんどさ

個人的には、大学院の面白さは研究にあり、しんどさも研究にあると考えています。というのも、私は大学院の研究を非常に面白いと感じているのですが、研究を面白いと感じるまでには研究がしんどくなる過程が何度かあったからです。新しい発見や狙っていたことがうまくいったときは非常に満たされた気持ちになります。しかしながら、常に結果に直結する実験のみをするのであれば楽しいですが、一つの実験にも数時間の準備が必要になることがあり、研究室の運営に関するタスクが下りてきたりすることもあり、これら进行处理しながら研究で一定の成果を出すことはそれなりにしんどいことです。一方で、研究室ではそうした処理能力に加えて、学会発表などを経てプレゼン能力の向上も見込めるため、社会人になる前に集団の中で生活し、成果を出す良い経験になると考えています。

また、大学院の研究をすることで自分なりの専門性が理解できるようになると思います。私は学部生の頃、「様々な勉強をしているが自分はどこに就職できるのか」と不安になっていました。自分にはこれが出来る、という手に職を持っている感覚がなかったからです。しかしながら、大学院で研究し、光学実験系の設計や流体力学の理論、粒子運動の解析など具体的に様々なことが出来るようになりました。社会に出てみないと分かりませんが、このような「手に職を付けた感」というのは少なくとも生きる上での自分への自信になるかと思われます。このような感覚を手に入れられるのも大学院の長所だと考えています。



輪講：  
研究に関する論文や理論に近い  
研究テーマの学生と議論する。

LS講習会・展示  
(2019.2~2019.8)

理工学図書館

- 講習会
- ・初心者でもゲームが作れる！ゲーム制作入門
  - ・理工学図書館LSの外国語会話サブリ（中国語）
  - ・Research instruction workshop: How to find articles in Osaka University Library
  - ・図書館初心者必見！20分でわかる論文検索
  - ・自学で狙うTOEIC高得点
  - ・技術者のための経済知識入門～簿記から学ぶ経済知識及びその応用先～
  - ・わかりやすい人工知能の基本
  - ・新しいコンピューティングの時代～脳型コンピュータが変える世界～

図書展示  
・理工学図書館LSが選ぶ「学部生に役立つ本」



わかりやすい人工知能の基本

外国学図書館

- 講習会
- ・「東欧革命」から30年 -社会主義時代とはどのような時代であったのか？-
  - ・ドイツ語圏へ留学しよう！
  - ・研究テーマの探し方（①言語編 ②教育編 ③文学編 ④歴史・地域研究編）

図書展示  
・LS Recommended Books ~ 2019年春LS選書~



「東欧革命」から30年

# NEWS☆図書館からのお知らせ（2019.2～2019.8）

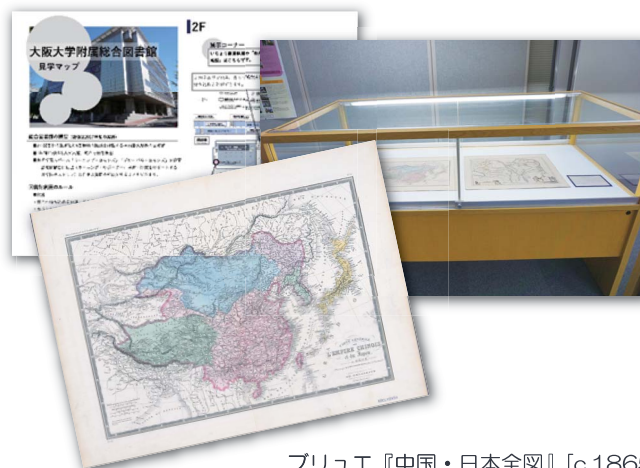
## イベント開催報告

### ◆いちょう祭での図書館イベント（総合・5月）

総合図書館では、館内自由見学および資料展示（展示期間：4/27～5/7）を行いました。5/2, 3は休日ということもあって、2018年より約4割増しの860名余りのご参加をいただきました。資料展示では、本学所蔵コレクションの「西洋古版アジア地図」から、特に日本の周辺地域が描かれた7点を展示しました。

### ◆謎解きゲーム「図書館からの脱出2」（理工学・4～5月）

2018年秋に好評だった「図書館からの脱出」の第2弾を開催しました。出題される問題を順番に解いて理工学図書館内を巡りながら、図書館の利用について理解を深めることができるイベントです。参加者数は107名でした。



ブリュエ『中国・日本全図』[c.1865]  
（いちょう祭で展示した地図例）

## 図書展示の記録

### ◆生命科学図書館

- ・「食べる」を科学する（8月）

### ◆理工学図書館

- ・あらためて学ぶ レポートの書き方（6月）
- ・英語力UPを応援する本12冊（7～8月）

### ◆外国学図書館

- ・第19回 専攻語図書リレー展示「ペルシア語」（5月）
- ・第65回 14冊の本棚「世界の祭りに触れる14冊」（7～8月）

## 講習会・セミナーの記録

図書館では様々な講習会等を企画しています。開催情報は、随時かわらばん・Webサイト等にてお知らせします。

### ◆データベース利用講習会

- 5/9 SciFinder [総合・理工学]
- 5/10 Reaxys [総合・理工学]
- 5/14, 15 Scopus [総合・理工学]
- 5/29, 30 Web of Science [総合・理工学]
- 7/4, 5 ProQuest Research Library, New York Times collection [総合・外国学]

### ◆文献管理ツール利用講習会

- 5/16, 17 Mendeley [総合・理工学]
- 5/29, 30 EndNote basic [総合・理工学]

### ◆セミナー

経営企画オフィス研究支援部門と共催で行われました。

- 6/7 IEEE英語論文執筆セミナー

### ◆総合図書館

- ・How to find and use books in Osaka University Library（4月）
- ・最速最短！大学院生・研究者のためのフルテキスト入手法（5月）
- ・としょかん夏の卒論まつり（7～8月）

### ◆理工学図書館

- ・工学系の論文の探し方入門（4～6月）

### ◆外国学図書館

- ・外国学図書館・国立国会図書館合同 文献探索ガイダンス（6月）
- ・Google Scholarの上を行け！～学術データベース活用法～（6月）